2023年度 12
勉強大事！

同じことを繰り返す原因は学ばないこと、ということも学べたので自分も一度行った失敗を繰り返さないようよく学ぶべきだと考えた。

悲惨な過去がなぜくり返されるのかについて、学ばない、知らないからだという意見をきいてたしかになと思った。学校で学ぶ機会があるように思えて知らないことなんてたくさんあるし、学ぼうとしなければ知ることもできないのだと気づかされた。

行ってしまうことはよくある。過去にあった過程を、人が集まると起こりやすい特性があると思うため、同じ流れが始まらないようにする必要があると思った。

できた覚じゃなかったけ、と思い出した。沢山知識がついていくと、人の役に立てる！と単純に考えていたが、その知識が人を殺めることにも使えるんだ、と改めて認識して興味深いとは少し違う恐ろしさを感じた。そして、知らなきゃいけないこと」の重要性も今回身に染みて感じた。Good!

今やそういうレベルに到達している。

ナチスの映像がとても印象に残りました。悲惨な映像で目を背けたくなるシーンも多くありましたが、先生もおっしゃっていたように全人類が見るべき映像であり、100年後も1000年後も忘れられてはいけないと感じました。

小さい頃からみんな"友達をたたいてはいけないよ"とか"人がいやがることはしちゃだめ"とか教わるけれど、"戦争"と言葉で聞いただけでは全く想像できない。こうして実際に目で見て知る時間を全ての人が体験しなければならないのだと思う。教育を受けられない人がいることはこのような問題にもつながってくる。

反証可能でない歴史について、自分で考えてみた。人類が学ばないから、というよりも、学ぼうとしないからの方が正しいように感じる。映像にあったように歴史の現実を見せつけられても「知らなかった」と目を背けたり、仮に学んだ人がいても、それを悪用しようとする人や、そもそも学ばない人がくり返すのだろう。

いい指摘です！

「のどもとすぎれば熱さ忘れる」ということわざがあるが、この言葉は歴史を学ばない私達人間をとても印象的に表現しているなと今回の授業で思った。日本の

知っている事と内容を理解している事は全く違う事を学ばせてもらった。ヒトラー誕生の経緯も、強引に生まれた訳ではなく、全権委任法で彼の者が己の利益を優先した過程を見ると結末も違った形で見えてくる。

ナチスドイツの事について、ちゃんと映像を見たことがなかった。収容所などについての授業はあったが、その後実際にドイツ人が見た時の映像にはおどろいた。客観的に見ると、見て見ぬふりをするドイツ人ひどいなどと思ってしまいそうだが、もし自分がドイツ人で、自分に家族があったらなどと考えると、声をあげることはできないだろうと考えた。

知らなければ防げない、知ることが大切といった言葉が印象に残っている。ホロコーストについては、私もそれを題材にした映画を何本か見たことがあり、知っていた。(『シンドラーのリスト』や『ライフイズビューティフル』など)。これは、多くの人に知ってもらいたい、後世に遺したいという思いから出来たものだと思う。 ですね!
そのように、"知る"ための道具・資料は世の中には絶対にあるのだから、やはり一番大切なのは知ろうとする事、行動力なのではないかと思った。

「歴史を忘れた祖国に未来はない」 幼い頃から歴史を習いながらきいてきた言葉です。悲しい歴史が繰返されないためには学ぶことも大切ですが、忘れずに生きていくことも大切だと思います。 その通りですね!

映像の世紀は大好きで、今日見た回は、家でも録画して何度も見ていました。 おおっ! 最後の、収容者の言葉は、初めて見たときから頭に残っていて、今日も、泣きそうになってしまいました。私たちには歴史的資料が、大量にあり、過去を「知る」ことができます。原爆も、被爆者が引き起こした過去も、深くまで学び、絶対にくり返すことがないようにしなければいけないと、再認識しました。 Good!

だろうか。映画や小説の主題にもなる多い話であるにも関わらず、学校教育では主題としてあまり使われていないからだと考えた。戦争や人種の話というのは、確かに教える側には難しいテーマである。教育者の指導によっては、学生が間違った認識を持つこともあるだろう。 今は教材も整っているのでは? 歴史の中で

私は広島の平和祈念式典に行ったことがあり、平和学習にはとても興味があるので、今回の授業で原子爆弾のしくみなどについて学べてよかったです。

ナチスドイツの映像を見るのは初めてではなかったが、何度見ても心がくるしくなる。私は、歴史をちゃんと学んでいる所が昔にくらべ、多くなったと感じる。小学生の頃、私は長崎で育った。そこでは毎年戦争について学ぶ時間がある。中学校の時のアメリカンスクールでは、1年かけてナチスについて学んだ。

今回の授業内で知っているのかいないのかという話を聞いて思い出したことがあった。現在、日本では憲法改正の議論が進んでいる。友だちとこの話をしようと思ったところ、憲法のことなんか全然知らないし興味ないという反応をされとても驚いた。内容の良し悪し以前に日本のこれからが大きく変わってしまうものなのにそれを簡単に知らないと言っている友だちに恐怖を感じた。

広島の原爆平和記念資料館に行ったことがあるが、何とも無ざんなものだった。このようなことが再びおこらないようにと願うばかりだ。

2023年度 12
また繰り返す？

今回の授業だけで収容所の話と原子ばくだんの話を学んだので、非常に心が重苦しいように感じた。悲劇をくり返さないために学ぶことが重要だと以前の授業から聞いてきたが、学んでいたところで、実際に防げるような人になれるのかと思ってしまった。私たち今この授業を受けた人は学んで防ぐ力はあるが、日本や世界の人々の母体数を見るに、我々少数でそのような意識を持っていても
と、思ったとしたら、その時点でダメ
いざくり返されそうになったとき、何もあらがう力が無いのではないだろうか。

今現在、世界中でポピュリズムが高まっているのを見ると、これまでの歴史の過を知り、学んでいても何度もくり返されるものなんだろうなと思う。

歴史は繰り返されるのか？という今回の議題について様々な人がそれぞれの意見をもっていると思う。私は、同じことが繰り返されると思う。人は過去のことを学んで

2023年度 12
エネルギー

顕微鏡のおかげでパスツールが研究できたように、これから技術が発展すれば新しいエネルギーも生まれるのではないかと思いました。

永久機関というものは物理学上できないのはなぜか、永久機関について考えたことがあったので少しにえきらないが、知れて良かった。

永久機関についての動画は、私もYouTubeで見たことがある。本当にこういったものがあれば面白いなと思ったが、初めて見たときは素直にだまされて、「すごい！こんな仕組みがあるんだ！」と驚いてしまった。先生の言った